だんけつ
銀座
No.８７
だんけつ編集委員会（ＪＰ労組東京銀座支部・組合員有志）
danketuginza2009@yahoo.co.jp

現場の声を支部大会に反映させよう！

９月３日にＪＰ労組東京銀座支部の定期大会が開催されます。職場の問題点を出し合って、意見反映させていきましょう。

みんなの声

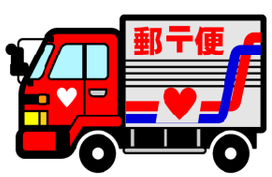
《時事問題》

◎オリンピックについて
「東京オリンピック反対」「一部の金儲けだ」「交通規制で配達できなくなるんではないか」
◎相模原事件について
「福祉施設の給料は安すぎる。年収８００万にすれば殺さない」「ほとんど非正規だ」「あれはテロだ」「友達も施設で働いているが精神がすり減っている」

《職場の問題》

◎正社員登用について
「班の仕事が何でもできるのに非正規のままだ」「同じ仕事をやっているのだから、班の人たちが認めてくれたら正社員にしてほしい」
◎超勤について
「人が足りないので、前超でやっている。人を増やしてくれ」
「６時間勤務の時ぐらい、定時で帰らしてくれ」
「三号便対応で毎日、超勤が確定している」
◎ロッカー点検について
「選挙のたびに点検するのはおかしい。犯罪者あつかいだ」
「土曜日も管理者が総出で出勤していた。あれは異常だ」
「カバンの中まで見せろと言われた。カバンは貸与されていないので、プライバシーの侵害だ」
「組合は、ロッカー点検についてどういう見解なんだ。俺が役員やっていたときは、本人の同意が原則で、強制は認めなかったし、役員は見せない方針だった」

【裏面に続きます】



◎祝日出勤について
「管理者が代休にしてくれと、しつこい」
「代休にすると、指定表をつくるのが大変だ」
「出勤した人が代休か祝日給かを選べるはずで、強制的な言動は許されない」
「管理者に言われると、ほんとはイヤだけど、しょうがなく代休にしている」
◎安全衛生面について
「使えるシャワーが少なくて、順番待ちで裸で並んでいた」
「福利厚生ぐらいしっかりしてもらいたい」
「トイレが汚い。毎日掃除していない。便器の黄ばみは年季が入っている」
◎備品について
「集荷が多くて、パレットケース、赤ブタ、ファイバーを集めるのが大変だ。取り合いにならない対策をしてほしい」
「チルドの保冷について、毎年言われるが、チルドボックスに入らないゆうパックが毎日来るのに、対策をこうじてくれない。以前管理者に、大きいビニールでくるんで持って行けと言われた」

話を聞くと、いろいろな意見が集まります。支部大会までまだ日にちがありますので、職場でみんなの意見と知恵をあつめて反映させていきましょう。

安倍政権の動向

安倍首相は、改造内閣の目玉として「働き方改革担当相」を新設し、加藤勝信・一億総活躍担当相に兼務させました。これまで厚労省やその諮問機関である労働政策審議会（公益、労働、経営の３者同数委員で構成）で議論してきたやり方を無視し、財界の意のままに労働法制を改悪し、労働組合を否定していこうというのです。

そうした情勢でのもとでの支部大会です。あらためて労働組合の意義を確認するとともに、組合員みんなの力で職場を良くしていこう！

被爆者の訴え

「私は８歳の時、爆心地から１・５キロのところで被爆し、熱線で大やけどを負いました。私は今、福島のことが一番頭にあります。たくさんの人が内部被曝しています。一番心配されていた子どもたちの甲状腺がんが、疑いも含めて１７３人も見つかっています。政府や福島県は原発事故の影響ではないと言いますが、私たちはそういう発言には断固反対しなくてはなりません。

私は、被爆当時の母のことを思い出します。愛するわが子がひどいやけどをして横たわる姿を見てどんなに悲しかったか。福島のお母さんたちも、わが子が甲状腺がんになった悲しみ、不安の中で生きています。」

（８・６ヒロシマ大行動での吉原美玲子さんの発言からの抜粋）